

様式第1号の2 (第3条関係)

実務経歴書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、**二級木造** 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。  
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。  
**令和〇〇年〇〇月〇〇日**

氏名 **建築 士郎** 印

長崎県指定登録機関 一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様

勤務先等				
勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
<b>〇〇大学大学院〇〇研究科 〇〇専攻</b>	<b>〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地</b>	<b>R2年4月～R4年5月</b>	<b>2年2月</b>	
在職期間		地位職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第10条）	
年月～年月	年月数			
<b>R2年4月 ～R4年3月</b>	<b>2年 0月</b>	<b>助教</b>	<b>建築物に関する研究開発に関する実務</b>	
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計	
			<b>2年 0月</b>	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
	<b>建築物に関する調査 または評価に関する研究</b>	—	<b>R2年4月～R3年3月</b>	<b>1年0月</b>
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
<b>建築物に関する調査または評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。 掲載誌: 〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題: 〇〇に対する〇〇について 著者名: 〇〇〇〇、〇〇〇〇</b>				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
	<b>建築物の設計に関する研究</b>	—	<b>R3年4月～R4年3月</b>	<b>0年6月</b>
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
<b>建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した高層建築物の地震応答特性を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。 掲載誌: 〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題: 〇〇に対する〇〇について 著者名: 〇〇〇〇、〇〇〇〇</b>				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
	<b>建築物の設計に関する研究</b>	—	<b>R3年4月～R4年3月</b>	<b>0年6月</b>
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）				
<b>建築物の設計に関する研究について、△△施設における温熱環境の多変量解析を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。掲載誌: 〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題: 〇〇に対する〇〇について 著者名: 〇〇〇〇、〇〇〇〇</b>				
※経由庁（機関）記載欄			※登録機関記載欄	

